

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応



農地の除染

イ カリウム肥料購入費用の助成

農作物の放射性セシウム吸収を抑制する効果があるカリウム肥料を農家の方が購入する際、費用の一部を助成します。

【平成23年度】

事業費	5,452万円
対象農地	約2,525ha

【平成24年度】

事業費	1億6,600万円	
対象農地	8,300ha	
対象者	郡山市内の農業者	
事業実施期間	平成24年4月1日～平成24年8月31日	
補助対象肥料	(推奨)塩化カリ(カリ成分量:60%)、ケイ酸カリ(カリ成分量:20%)	
補助額	旧市(大槻・富田含む)、喜久田町、日和田町、富久山町、西田町(国庫補助対象地区)	上限2,000円/10ha
	上記以外の地区	対象経費の4分の3の額 上限1,500円/10ha

ウ 農地土壌放射性物質分布マップの作製

農地の除染対策や、安全な農作物の生産対策に活用するため、本市や国、県が調査している農地土壌の放射性物質濃度測定データを使用し、本市独自の詳細な放射性物質分布マップを作製しています。

- ・農地土壌放射性物質濃度測定件数:1,097件(平成24年7月10日現在)

エ 農業系汚染廃棄物処理事業

放射性物質の影響により利用できない農業系汚染廃棄物は、営農に支障がないよう一時仮置き等を実施しています。

(7) その他の公共施設の除染

- ・せせらぎこみち

名称	延長	実施箇所
台新・開成せせらぎこみち	2,100m	遊歩道、植栽、水路等
西ノ内・若葉町せせらぎこみち	1,000m	
計	3,100m	

- ・男女共同参画センター(さんかくプラザ):庭園
- ・郡山市保健所:駐車場・中庭
- など

2. 放射線量モニタリングと食の安全

「自分が住んでいる地域や、子どもが通う学校はどのくらいの線量があるのか」そんな不安を解消するため、小中学校、保育所、公園、行政センター、道路など、市内2,053か所で放射線量を定期的に測定し、「郡山市放射線量モニタリングマップ」として市ウェブサイト上で公開しています。

また、文部科学省が市内393か所に設置した可搬型モニタリングポスト及びリアルタイム線量測定システムで測定した最新の放射線量を、同省のウェブサイトで公開しています。

さらに、希望する個人の住宅の放射線量の測定や、サーベイメータ等を貸し出すなど、きめ細やかな空間放射線量の測定と情報提供に努めています。

(1) 身の回りの放射線量測定・測定機器の貸出し

生活空間における放射線量を測定し、市民の皆さんの不安を解消するため、放射線の測定器等の貸出を実施しています。

ア 町内会向けサーベイメータの配備

- ・平成23年10月28日から、各町内会へ1台ずつ配備
- ・行政センター及び方部町内会連合会を通して市内全659町内会に配布完了

イ 個人宅の放射線量測定

- ・平成24年1月11日から受付開始
- ・実施済み:1,868件

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応



個人宅の線量測定

ウ 個人へのサーベイメータの貸出

- ・平成24年1月23日から受付開始
- ・貸出:5,156件



貸出窓口

エ 個人への電子式積算線量計貸出し

- ・平成24年1月25日から受付開始
- ・対象:市内在住の15歳以上の方、市内の高等学校への通学者
- ・貸出:3,798件

オ 妊婦への電子式積算線量計貸出し

- ・平成24年6月1日から貸出し開始
- ・対象:妊娠中の方(母子健康手帳交付後～出産前)
- ・貸出:584件

※平成23年度はバッジ式積算線量計を配布

(2) 食品の安全確保

ア 小中学校の給食検査

- ・平成23年12月1日から給食センター及び自校給食校の給食まるごと検査を開始
- ・平成24年2月27日から、まるごと検査に加え、給食センター及び自校給食校の主要食材検査を開始
- ・平成24年2学期から市内2か所の給食センターに加え、自校給食64校全てに検査機器を設置し、各校で給食を毎日測定できる体制を整備
- ・国の定める基準値よりも厳しい1kgあたり10Bqを市独自の基準値としている



学校の給食検査

イ 保育所等の給食検査

- ・平成23年12月5日から公立保育所の給食まるごと検査開始
- ・平成24年1月27日から民間認可保育所の給食まるごと検査開始
- ・平成24年4月23日から公立保育所及び民間認可保育所の主要食材検査を開始
- ・平成24年12月18日から市内52か所の保育所等へ検査機器を設置し、検査体制を強化
- ・国の定める基準値よりも厳しい1kgあたり10Bqを市独自の基準値としている

ウ 一般食品等の放射性物質測定

- ・平成24年3月5日から受付開始
- ・測定実績:31,719件
- ・測定場所:各行政センター、各地域公民館、市民交流プラザ、ニコニコこども館、パップキッズこおりやま、総合地方卸売市場

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応



食品検査

工. 出荷用の農林水産物等の放射性物質測定

卸売市場に流通している食品の安全を確保するため、農林水産物及びその加工品等の放射性物質を測定しています。

- ・平成24年4月2日から測定開始
- ・対象：市場出荷者等、入場卸売業者、仲卸業者及び関連事業者
- ・検査機器：NaIシンチレーションスペクトロメータ
- ・検査場所：総合地方卸売市場

オ. 販売用の農産物等の放射性物質測定

農産物等の安全確保のため、販売用の農産物と農地土壌の放射性物質を測定しています。

- ・平成23年10月25日から受付開始
- ・対象：市内の農業者
- ・測定実績：3,223 件
- ・検査機器：NaIシンチレーションスペクトロメータ
- ・検査場所：農業センター

カ. 米の全量全袋検査

検査実施主体	検査機器数	検査済み数
郡山市農業協同組合	12台	727,098 袋
福島県農産物検査機関協議会	11台	471,489 袋
計	23台	1,198,587 袋

キ. 加工・流通食品中の放射性物質検査

市内で加工又は販売されている食品の検査を実施し、基準を超えた食品が市内に流通することのないようにしています。

【平成23年度】

- ・検査期間：平成23年12月5日から平成24年3月31日
- ・検査機器：NaIシンチレーションスペクトロメータ
- ・検査場所：保健所検査課
- ・検査実績：31件
- ・検査結果：暫定規制値(500Bq/kg)を超えるものではありませんでした。

【平成24年度】

- ・検査期間：平成24年4月1日から
- ・検査機器：Ge(ゲルマニウム)半導体検出器
- ・検査場所：保健所検査課
- ・検査実績：1,280 件
- ・検査結果：一般食品1検体が基準値を超えました。その他のものについては、基準値を超えるものではありませんでした。基準値を超えたものについては、食品衛生法に基づき回収を指導しました。

ク. 食肉の放射性物質検査

と畜場で処理された豚、馬、めん羊等の食肉(牛肉を除く)のスクリーニング検査を実施し、基準を超えた食肉が市内に流通することのないようにしています。

- ・検査期間：平成23年9月20日から
- ・検査機器：NaIシンチレーションスペクトロメータ
- ・検査場所：食肉衛生検査所
- ・検査実績：7,179 件
- ・検査結果：平成24年5月及び11月にそれぞれ豚肉1件、馬肉1件が基準値を超えました。その他のものについては基準値を超えるものではありませんでした。(基準値100Bq/kg)基準値を超えた食肉については、食品衛生法に基づき廃棄の命令を行いました。

ケ. 水道水の放射性物質モニタリング検査

原発事故により、平成23年3月21日の豊田浄水場の水道水から、乳児の摂取指標値である100ベクレルを超える放射性ヨウ素が検出されたため、一時的に乳児の水道水の摂取を控えていただきましたが、その後、数値が低下したことから、3月25日に摂取制限を解除しました。

市では放射性ヨウ素を除去するため、活性炭を使用して浄水処理を行うとともに、水道水のモニタリング検査を毎日実施し、検査結果を市ウェブサイトや報道機関をとってお知らせ

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応

しました。当初は検査結果が出るまでに3日程度を要していましたが、国や県に対し毎日の検査と迅速化を強く要請した結果、平成23年3月30日からは毎日の検査と、検査結果の翌日公表が実現しました。さらに、平成23年10月3日以降は、県からゲルマニウム半導体検出器を借り受け、市が直接検査することにより、検査結果の即日公表が可能となりました。

なお、平成23年4月17日以降は、本市の水道水からは放射性ヨウ素及び放射性セシウムは検出されておませんが、継続して検査を実施し、安全・安心な水道水の供給に努めています。



コ. 飲用井戸水等の放射性物質検査

飲用井戸水等の検査を実施し、飲用水の安全確認を行っています。

【平成23年度】

- ・検査期間：平成23年8月29日から平成24年3月31日
- ・検査機器：NaIシンチレーションサーベイメータ
- ・検査場所：保健所検査課
- ・検査実績：981 件
- ・検査結果：全て不検出(検出下限値60Bq/L／暫定規制値200Bq/L)

【平成24年度】

- ・検査期間：平成24年4月1日から
- ・検査機器及び場所：Ge(ゲルマニウム)半導体検出器
- ・検査場所：保健所検査課
- ・検査実績：201 件
- ・検査結果：全て不検出(検出下限値1Bq/L／基準値10Bq/L)

【参考】

国の定める食品中の放射性セシウムの基準値(平成24年4月1日～)

食品等	基準値(Bq/kg)
一般食品(乳製品を含む)	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

3. 放射線からの健康管理

自分がどのくらい放射線を受けているのか。また、健康に影響はないのか。原発事故以来、不安が広がりました。そんな不安を解消するために、積算線量計を貸し出しています。

また、市民の皆さんの健康管理を長期的に行うため、保健所内に放射線健康管理センターを設置しました。このセンターには、体内に存在する放射性物質を測定できるホールボディカウンターを設置し、内部被ばく検査を行います。

さらに、子どもたちの心や体のケアに取り組んでいます。

(1) 積算線量計による積算被ばく量測定

ア 積算線量計による外部被ばく量の測定

中学生以下の子どもたちを対象にバッジ式積算線量計を配付

15歳以上の市民や妊婦、市内高等学校等への通学者に対する電子式積算線量計を貸出

イ 対象者数

【平成23年度】

機器名	対象者	人数
バッジ式積算線量計	小中学生	約28,600人
	未就学児・妊婦	20,665人
	計	約49,265人

機器名	対象者	人数
電子式積算線量計	市内高等学校等への通学者	約12,000人
	15歳から18歳までの市外高等学校等への通学者	約2,000人
	15歳から18歳までの未就学者	約400人
	市内在住の19歳	約3,600人
	20歳以上の市民	約6,500人
	計	約24,500人